

かっこいい!ストリートダンス

舞踊コース

ストリートダンス

目的

- ・ストリートダンスの基礎を楽しく学び、構成を加えた振り付けをマスターして発表する。

効果

- ・基礎から発展し、「表現方法」としてのダンスを学ぶ。

到達点

- ・1つの作品を発表会形式で踊ることにより、自分で楽しむだけでなく、人に観せる・人を魅せるためのダンスができる。

講師 hiro&koki
ひろ えんど こころ



略歴

舞踊家・舞台芸術家

hiroは幼少期よりモダンバレエ、ヒップホップを学び、フェリス女学院大学ダンス部在中にコンクールや舞台に多数出演。現在、カンパニー「Ordinary7」等舞台で活躍するかたわら、後進の指導・育成にも力を注ぐ。kokiは天理大学体育学部卒業後、神戸大学発達科学部大学院研究員・高校講師を経て、05年、劇団四季に入団し「ライオンキング」等に出演。07年、カンパニー「Ordinary7」を設立。トレーニング学に基いたダンスメソッドの確立、若手芸術家の育成・活動支援、芸術文化の充実した豊かな社会づくりに取り組む。



事前学習

ストリートダンスに興味をもつ。

ワークショップの流れ (3日間〈2コマ/日〉)

ストレッチ

音楽にあわせてダンスの基礎練習

作品の振り付けを部分的に分けて、振り付け演習

音楽にあわせてコンビネーション演習

作品の振り付けを、音楽にあわせて通し演習

ステージ動線演習

音楽にあわせて、最終の通し演習

発表会

講師のストリートダンスを鑑賞

事後学習

発表会をビデオに記録し、自分たちの踊る姿を客観的に観て、次に活かす。

…ワークショップを実施して…

講師の感想

受講対象をダンス経験者に絞るなど、学校側の受け入れ態勢が整っていたので、レベルの高いレッスンができた。時間を追うごとに積極性と集中力が高まり、2日目には基礎のステップだけでなく、習得度に個人差のあった振り付けも、最終的に全員が踊れるようになり、発表会という目標も達成できた。もっと多くの先生方に見学に来ていただいて、学習成果と趣旨を直接感じていただければさらに良かったと思う。

先生の感想

受講者はダンス経験者が中心で、プロの講師から親しみやすい指導をしていただけたので、充実した内容となり、見学した教員にも好評だった。発表会という目標を決めて取り組んだので、達成感もあったようだ。これが、生徒たちの今後の自信につながると思う。今後も、多様なジャンルのプロにお願いして、ぜひワークショップを実施できればと思う。

生徒の感想

- ・色々なダンスがあることを知って、大学に進学してもダンスがしたいと思った。
- ・ストリートダンスが好きになって、受講後、自宅でも同じ曲をMDで流して踊っている。
- ・ヒップホップの基礎ができるようになった。他のダンスとの違いがよくわかった。
- ・講師のダンスがとても上手で感激した。

advice points

- 会場は、体育館など、板面の床が望ましい。
- 全身の動きをチェックするための大きな鏡が設置されていればなお良い。
- 音楽が必須であるので、音響設備を準備する。
- 動きやすい服装と、水分補給用ボトルやタオルを各自準備。

より発展的なワークショップを実施するために

- 学校内の体育館以外で踊ってみる。
- 踊りが際立つよう、ファッションなどにも工夫を凝らし、文化祭等で発表する。